



## 上智大学とアテネオ・デ・マニラ大学がCOILセッションにて連携 持続可能な未来のための哲学と宗教の世界観を探究, June 28, 2024 カレン・ナテラ(アテネオ・デ・マニラ大学)&マリア・マンゾン(上智大学)

フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学と上智大学は、国境を越えた有意義なパートナーシップ関係にあります。両校の学生たちが、オンライン国際交流学習(COIL)プログラムに参加しました。この革新的な取り組みはアジア・パシフィックイエズス会大学連盟の縁によって実現したもので、教育や持続可能性に影響を与える豊かで多様な哲学的・宗教的伝統を、両校の学生が共に学びました。上智大学ではCOILセッションを、SPSFコース「アジアの比較教育学:文化、歴史、未来」の一部として実施。アジアを仏教文化、キリスト教文化、ヒンドゥー教文化、イスラム教文化、日本文化、中国文化の6大文化に大別し、それぞれの教育システムを探究・比較しました。

2024年春学期の末頃、2回のCOILセッションがZoomで行われました。こうすることにより、学生たちはCOILでの議論テーマについて、それぞれのコースで十分な予備知識をつけることができます。各COILセッションには3名の専門家が招かれ、それぞれ10分で特定の哲学的・宗教的な世界観と、持続可能な未来に向けた教育に対するその影響について紹介しました。続いてオープンフォーラムが行われ、学生たちは共有プラットフォームとしてGoogle Docsを使用し、どの専門家にも自由に質問することができました。フォーラム後は、両大学の学生の混成となるよう設定された分科会に分散。ここで学生たちは、持続可能な未来に向けた教育を推進するなかで、3つの哲学的・宗教的世界観がどのように合流していくか、それぞれの考えを話し合いました。最後に全体会が行われ、各グループの代表者がまとめの考察を発表しました。

### 第1回COILセッション:中国文化、日本文化、仏教文化の視点

2024年6月28日に実施された第1回セッションでは、学生たちは中国文化、日本文化、仏教文化の世界観に触れました。招かれた3名の専門家は、フィリピン・ザビエル学校のジェニファー・ゴー・セイ氏、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン修士のノパット・ルアンクール氏、上智大学大学院グローバル教育センター、グローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻の杉浦未希子教授です。3名の貴重な見識を得て、議論は大いに深まりました。

アテネオ・デ・マニラ大学(ADMU)のカレン・ナテラ氏、上智大学(SU)のマリア・マンゾン博士による指導のもと、参加者は、文化的哲学がどのように教育実践を形作り、持続可能な未来に貢献するかについて、意義深いやり取りを行いました。ADMUの学生ブレイデン・ジャンセン・アンも、このように感想を述べています。

「COILセッションによって、アテネオの外の教育を垣間見ることができました。上智大学の学生とのやり取りを通じ、私たちの慣習と違うところもあれば、同じところもあるけれど、目指すところは持続可能な教育という、同じ目標の達成だということがわかったのです。アテネオ大学の学生には、文化の異なる学生と活動・協働できるCOILのような機会がもっと必要だと私は感じます」

### 第2回COILセッション:キリスト教文化、イスラム教文化、ヒンドゥー教文化の視点

上智大学のシリル・ヴェリヤト教授、マレーシア国際イスラム大学のザイナル・アビディン・ビン・サヌーン教授といった専門家陣の見識によって議論は充実したものとなりました。学生たちは、これらの宗教哲学が融合し、持続可能性を高める教育実践につながっていく道筋について考えました。

セッションを振り返り、上智大学SPSFコースの学生チェトナ・カシャプはこのように発言しました。「持続可能な未来に向けた教育を推し進める上で、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教の視点が融合していることは明白です。キリスト教は理性を通じて神に仕え、正義を旨とすることを重んじるので、環境への責任感と創造物への思いやりが育まれます。イスラム教の管理責任(ハリファ)、中庸(ワサティア)の教えは、神に対する責任や自然との調和をうたえており、節度ある消費を促すものです。ヒンドゥー教の、相互のつながり(ヴァスダイヴァ・クトウンバカム)や非暴力(アヒンサー)の理念は、あらゆる生き物とサステナブルな活動に対する敬意を高めてくれます。こうした教えは、持続可能性を重んじる思考を育て、精神的および感情的な幸福度を育むことにつながると思います」

### COILで築く国際的なつながり

COILプログラムによって生まれた国際的な協働学習環境により、学生たちは異なる文化背景を持った仲間とつながることができるようになりました。多様な世界観に触れることで、参加者は学術的な知見を広げ、持続可能で相互につながりを持った未来を築くためのグローバルコミュニティに貢献しています。教育を、より包摂的で国際意識の高いものにしていく上で、COILはその足がかりとなるのが本セッションでも明らかになりました。



2024年7月12日 上智大学とアテネオ・デ・マニラ大学の学生による第2回COILセッション